

# 知っておきたい規則とルール

## ハンドブック ワンポイント レッスン

### Question .....

中学、高校、大学とソフトテニス部でプレーしていましたが、仕事が忙しく数年プレーから離れていました。昨年からは仕事も落ち着いてきたのでまたプレーを再開し始めましたが、久しぶりに参加した大会で、トレーナーや今どきはやりの長袖のアンダーシャツ、ロングスパッツなどを着て試合をしている選手をたくさん見かけました。私が学生の頃には、大会での服装は半袖のシャツにハーフパンツなどでなければいけなかったように記憶していますが、現在はどうなっているのでしょうか？

### Answer .....

《ウェアに関する特例》により大会主催者が認め、事前に選手に周知している場合は、オーバーウェアや襟付き長袖スポーツシャツ、長袖アンダーウェアの着用が認められる

お仕事の都合でプレーから離れておられた様ですが、ソフトテニスのプレーを再開されたとのこと嬉しく思っております。

さて、ご質問を頂きましたソフトテニスウェアに関する決まりですが、こちらについては2012年4月のワンポイントレッスンでも取り上げていますが、昨年6月の評議員会において、その内容が一部改定されましたので、今回のご質問に合わせて再度回答させていただきます。

(公財)日本ソフトテニス連盟主催の競技会においては、大会要項の参加条件に記載されている通り、連盟が公認したメーカーの製品で「ユニフォーム等の着用基準について」(別表5)に明記されておりますが、質問に係わる、ユニフォーム及び《ウェアに関する特例》は以下のとおりです。

#### 1. ユニフォーム

襟(4~6cm)付きで、前立てにファスナーかボタン付きの半袖のスポーツシャツと裾が膝より上のパンツ、またはスカートとする。ただし、女子のワンピース及びフレンチスリーブ、ノース

リーブのスポーツシャツ(Tシャツを除く)はユニフォームとみなす。

#### 《ウェアに関する特例》

- (1) オーバーウェア及び襟付き長袖スポーツシャツの着用については、大会主催者が認める場合のみ、事前に選手に周知することにより着用可能とする。
- (2) アンダーウェア(インナーウェア)の着用については、襟元を除き、ユニフォームから露出して着用する事は認めない。ただし、長袖アンダーウェアの着用については、大会主催者が認める場合のみ着用可能とする。
- (3) 長袖アンダーウェア及びスパッツは大会主催者が認める場合のみ、事前に選手に周知することにより着用可能とする。  
ただし、単色であること及び(1)の場合を除きユニフォームを着用することとし、スパッツについてはユニフォームから露出しないこと。

したがいまして、今回ご質問頂いた状況はおそらく

大会主催者がオーバーウェアや長袖アンダーウェアの着用を認める場合、大会要項等で事前に選手への周知を行っていたものだと思いますが、ロングスパッツの着用について上記のとおり認められておりません(ローカルルールで認められている場合は除きます)。

ユニフォーム等の着用基準については、これまでも会員の皆様のご意見などを踏まえ改訂や修正がなされてきましたが、平成26年度に長袖アンダーウェアの着用が可能(大会主催者が認める場合)となったことで、スパッツについてもユニフォームから露出しても大丈夫になったと間違った認識をしておられる方も多くいるようですが、それは誤りです。

(公財)日本ソフトテニス連盟のホームページにユニフォーム等の着用基準についての詳しい内容と「ウェアに関する特例(3)」が認められている大会が記載されて

います。そちらについてもぜひご確認下さい。

[http://www.jsta.or.jp/wp-content/uploads/event/uniform\\_kijyun\\_2015.pdf](http://www.jsta.or.jp/wp-content/uploads/event/uniform_kijyun_2015.pdf)

#### 【関連規則】

#### ソフトテニスハンドブック

#### 「ユニフォーム等の着用基準について」



あれ～、長袖アンダーウェアに長ズボンだ……あっ、そうか！  
本体会は主催者が認めて事前に選手に周知しているのでOKなんだ。

